

全国コミュニティシネマ会議 2013 イン 浜松

映画を軸にクリエイティブなまちづくりを考える ～コミュニティシネマのリノベーション！

今年のコミュニティシネマ会議は浜松で開催します。

浜松の映画館「シネマイーラ」を中心に組織された「楽隊のうさぎ」を映画にする会が製作母体となり、2012年夏にクランク・インした『楽隊のうさぎ』がこの夏に完成、コミュニティシネマ会議でお披露目の上映会を行います。

『海炭市叙景』につづき、コミュニティシネマが中心となってつくられた映画を、撮られた町で、いち早くみて、完成をお祝いしましょう。

会議のもうひとつのテーマは、“リノベーション”です。

“コミュニティシネマ”という言葉は初めて使ったのは2003年のこと。

コミュニティシネマが生まれて10年がたちました。

これまでの10年間を振り返るとともに、新たな10年に向けて、「コミュニティシネマのリノベーション！」を考える、様々なプログラムを用意しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

会場:

クリエート浜松

静岡県浜松市中区早馬町2番地の1 Tel: 053-453-5311 (添付会場案内図参照)

◆加費:

会議:2,000円(資料代、『楽隊のうさぎ』鑑賞含む)

※ 9月6日、7日共に参加可。一部のみの参加も参加費は同じです。

※ コミュニティシネマセンター会員は会議のみ無料です。(1団体1名)

レセプション:3,000円

お問い合わせ

コミュニティシネマセンター TEL:050-3535-1573 FAX:03-3461-0760 <http://www.jc3.jp>

シネマイーラ TEL: 053-489-5539 FAX: 053-489-7288

主催:浜松市民映画館・シネマイーラ /一般社団法人コミュニティシネマセンター

文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」 「みんなのはままつ創造プロジェクト」

全国コミュニティシネマ会議は、どなたでもご参加いただけます。

参加を希望される方は、別紙の申込用紙にご記入の上、8月30日(金)までにファクシミリ(FAX.03-3461-0760)またはメールにてご送付ください。

全国コミュニティシネマ会議 2013 イン 浜松 タイムテーブル

9月6日(金)

10:00~12:00

ワークショップ:あなたの劇場の「デジタル化」の現状を話し合おう!

会場 クリエート浜松 2F 21 講義室 定員 40人

13:30~

プレゼンテーションとディスカッション: コミュニティシネマのリノベーション!

会場 クリエート浜松 ホール 定員 200人

13:30-13:45 主催者挨拶 コミュニティシネマセンター活動報告

13:50-16:45 **映画館(コミュニティシネマ)のリノベーション!**

17:00-17:30 静岡・浜松のコミュニティシネマプレゼンテーション 会場: ふれあい広場

18:00~19:30

18:00-19:30 **『楽隊のうさぎ』** プレミア上映

会場 クリエート浜松 ホール 定員 450人

19:45~21:15 レセプション 会場 クリエート浜松内「シャンボール・ガーデン」

9月7日(土)

9:30~12:00 **分科会**

1 映画祭の現在一魅力的なプログラムのあり方 22 講座室 定員 30人

2 Fシネマ・プロジェクト~フィルムの上映環境を確保するために。 AV 編集室 定員 30人

3 シネマ・シンジケート・プロジェクトを検証する ふれあい広場 定員 100人

12:15~12:45 全体会

13:30~ **ディスカッション:コミュニティシネマと映画製作**

13:30-13:45 プレゼンテーション:『楽隊のうさぎ』ができるまで。

13:50-15:30 ディスカッション:映画をつくること/映画を上映すること/コミュニティをつくること

会場 クリエート浜松 ふれあい広場 定員 100人

16:00-18:00

ワークショップ:作品に即した広報宣伝戦略とは~『楽隊のうさぎ』をモデルケースに

~若年層の観客開拓プログラムの共同制作

会場 ふれあい広場

18:00 **終了**

ワークショップ:

デジタル時代のプログラム開発ワークショップ 1:

あなたの劇場の「デジタル化」について話し合おう!

※ 出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

9月6日(金) 10:00~12:00

会場 クリエイト浜松 2F 21 講義室

定員 40人 ※コミュニティシネマセンター会員優先とします。

この夏、多くの独立系映画館がデジタル化を実現します。

すでにデジタル化から数年を経た劇場、デジタル化したばかりの劇場、いま、まさにデジタル化をしようとしている劇場、デジタル化の目途が立たない劇場…。

…それぞれの立場から現在の課題や今後の展望について意見を交換します。

デジタル化に伴って、様々な上映のトラブルも起こっています。その原因は何なのか。どうやって解消することができたのか。まだまだ、わからないことだらけのデジタルシステム。みんなの意見をもちよって、不安を解消し、新しいプログラムを開発することを目指します。

DCP とは何か…知っているようで知らない、DCP の基礎知識に関するレクチャーもあります。

- ・ 独立系劇場のデジタル化の現状に関する報告
デジタル化した館数、機種、その他のデータ
- ・ 「DCP」についての基礎知識講座
- ・ デジタル機器のトラブルとその解消方法
- ・ デジタル機器を使った新たなプログラム報告 等々

報告・コーディネート:コミュニティシネマセンター

プレゼンテーションとディスカッション： コミュニティシネマのリノベーション！

映画を軸にクリエイティブなまちづくりを考える～

※ 出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

9月6日(金)

会場 クリエイト浜松 ホール 定員 200人

13:30-13:45

主催者挨拶

コミュニティシネマセンター活動報告

13:50-16:30 **コミュニティシネマのリノベーション！**

Renovate 〈古い建物・絵画など〉を修理[復元]する。〈元気・健康など〉を回復する——地域にミニシアターやフィルム・アーカイブ、シネマテークができ、映画祭がスタートしたのが1990年代から2000年代初頭のこと。それから15年、20年を経て、コミュニティシネマは、リノベートすべきときを迎えています。

3.11以後、ゼロからのまちづくりをスタートした石巻や宮古、新しいまちで映画に何ができるのか。映画、映画館という場所、映画を上映すること、の意味を、様々な事例をもとに考えます。

13:50-15:20 **基調報告とプレゼンテーション**

基調報告 新しいまちをつくる～石巻の挑戦(仮)

西田司(建築家/有限会社オンデザインパートナーズ代表/ISHNOMAKI2.0理事)

プレゼンテーション

BLACK BOX(青森) 立木祥一郎 (teco llc 代表)

爆音映画祭&boid 樋口泰人 (株式会社 boid 代表取締役)

豊劇新生プロジェクト(兵庫県豊岡市) 石橋秀彦(有限会社石橋設計・SIB 合同会社代表)

みやこシネマリー (3.11以降の活動の拡大) 櫛桁一則(みやこシネマリー支配人)

映画「朝日座」の制作(福島県南相馬市) 藤井光(映画監督)

15:25-16:45 **ディスカッション**

17:00-17:30 **静岡・浜松のコミュニティシネマ プレゼンテーション** 会場:ふれあい広場

浜松シネマイーラ 静岡シネギャラリー 木下恵介記念館 シネマ・ヴァリエテ

※ 出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

「楽隊のうさぎ」関連プログラム

完成したばかりの『楽隊のうさぎ』のプレミア上映。9月7日には、『楽隊のうさぎ』メイキングのプレゼンテーション、ディスカッションも行います。

9月6日(金)

18:00-19:30

『楽隊のうさぎ』プレミア上映

挨拶 中沢けい(原作者)、鈴木卓爾(監督)、出演した子どもたち(予定) 司会:榎本雅之(シネマイーラ)

中沢けいの名作『楽隊のうさぎ』を、『私は猫ストーカー』、『ゲゲゲの女房』の鈴木卓爾が演出、監督。浜松シネマ・イーラの榎本支配人を中心に組織した「楽隊のうさぎを映画にする会」が製作母体となり、2012年夏に浜松でクランク・イン。オーディションで選ばれた少年、少女たちは、音楽監督の磯田健一郎の指導のもとで管弦楽の猛特訓、4月の撮影でクランクアップ。できたばかりの『楽隊のうさぎ』プレミア上映です！

監督:鈴木卓爾 原作:中沢けい(新潮文庫刊)

脚本:大石三知子(『東南角部屋二階の女』『ゲゲゲの女房』) 音楽監督:磯田健一郎(『ホテル・ハイビスカス』『ナビイの恋』)

会場 クリエイト浜松 ホール 定員 450人

19:45~21:15 レセプション

9月7日(土)

ディスカッション:コミュニティシネマと映画製作

13:30-13:45 プレゼンテーション:『楽隊のうさぎ』ができるまで。

榎本雅之+池谷道浩(「楽隊のうさぎ」を映画にする会)

13:50-15:30 ディスカッション:映画をつくること/映画を上映すること/コミュニティをつくること

司会:寺脇研(映画評論家/京都造形芸術大学教授/ジャパン・フィルムコミッション理事)

パネリスト:大高宏雄(映画ジャーナリスト)/越川道雄(プロデューサー)/菅原和博(函館シネマアイリス代表)/

榎本雅之

会場 クリエイト浜松 ふれあい広場 定員 100人

みんなのはままつ創造プロジェクト「浜松コミュニティシネマ・プロジェクト」

主催:浜松市民映画館/一般社団法人コミュニティシネマセンター

分科会

コミュニティシネマの三本の柱である“映画祭”と“シネマテーク”、そして“映画館(ミニシアター)”。デジタル化の時代を迎えたコミュニティシネマはどこへ向かうのか。これまでの活動を振り返るとともに、今後の活動について話し合います。※ 出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

9月7日(土) 9:30~12:00

1 映画祭の現在一魅力的なプログラムのあり方

コーディネーター：石坂健治(日本映画大学教授・東京国際映画祭「アジアの風」プログラム・ディレクター)/
志尾睦子(高崎映画祭ディレクター・シネマテークたかさき代表)

全国には100以上を数える“映画祭”があります。70年代にスタートした老舗映画祭から2010年代に始まったばかりの映画祭まで、規模もラインナップも様々です。コミュニティシネマ会議は「映画祭のネットワークづくり」から始まりました。この分科会では、映画祭のプログラムや予算や運営方法といった話題から、映画祭が抱える問題、映画祭のネットワーク作りまで、情報を交換し、幅広くディスカッションします。

会場：クリエート浜松 **22 講座室** 定員 30人

2 Fシネマ・プロジェクト~フィルムの上映環境を確保するために。(シネマテーク・プロジェクト)

コーディネーター：松本正道(アテネ・フランセ文化センター主任)/岩崎ゆう子(コミュニティシネマセンター事務局長)ほか
ゲスト：とちぎあきら(東京国立近代美術館フィルムセンター主任学芸員)

「映画事業を行う公共的な文化施設」=シネマテークが連携して、映画史上の重要な作品を上映・巡回するシネマテーク・プロジェクト。古典作品については16ミリ、35ミリフィルムで上映してきましたが、急速なデジタル化の進行により、このような形でプロジェクトを継続することができるのか、危ぶまれる状況となっています。この分科会では、デジタル化に対応すると同時に、上映形態の多様性を確保し、将来的にも、フィルムでの上映環境を保持しつづけるための「Fシネマ・プロジェクト」についてディスカッションします。

会場：クリエート浜松 **AV 編集室** 定員 30人

3 シネマ・シンジケート・プロジェクトを検証する

コーディネーター：田井肇(シネマ5代表)/伊藤重樹(コミュニティシネマセンター シネマ・シンジケートマネージャー)ほか
地域のミニシアター、映画館のネットワーク「シネマ・シンジケート・プロジェクト」は2008年7月に設立され、邦洋のさまざまな映画を共同で上映してきました。そして、この5年の間に映画館、上映素材のデジタル化だけでなく、映画、映画館を取り巻く環境も大きく変化してきています。今回の分科会はこのプロジェクトの過去の活動を検証しながら、今後の地域映画館(「街なか映画館」)のあり方、またそのネットワークとして機能すべき「シネマ・シンジケート」の方向性について自由討議します。

会場：クリエート浜松 **ふれあい広場** 定員 70人

12:15~12:45 全体会

ワークショップ:

作品に即した広報宣伝戦略とは～『楽隊のうさぎ』をモデルケースに

～若年層の観客開拓プログラムの共同制作

※ 出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

9月7日(土)

16:00-18:00

2013年冬に公開される『楽隊のうさぎ』。

この作品をモデルケースに、映画館(劇場)、配給会社、それぞれがどのような宣伝プランを立て、観客に作品を届けるのかを考える “公開宣伝会議”です。

コーディネーター:北條誠人(ユーロスペース支配人)

劇場宣伝プランのプレゼンテーション

シネマイーラ(封切劇場)

川崎市アートセンター(中野香)/横浜ジャック&ベティ(梶原俊幸)

配給会社の宣伝プラン

太秦(配給会社) パブリシティ・印刷物デザインプラン・SNS 戦略等々
コミュニティシネマセンター

会場:ふれあい広場

18:00 終了

